

地方公共団体名	奈良県
所属部局	総務部知事公室 県土・施設企画課／環境森林部 脱炭素・水素社会推進課
現状・実施したい脱炭素施策	本県では、「まほろばゼロカーボン推進事業（2024年-2028年）」として、県有施設約150施設の電力一括調達、約100施設のLED化改修、3施設へ太陽光発電設備の導入及び2施設の庁舎のZEB化改修を合わせて実施しています。 これにより、県有施設の省エネ化が進展し、施設全体の電力需要の適正化が見込まれています。 また、約150施設の電力一括調達による30分デマンド値を活用した電力使用の見える化・適正化を図る電力監査も実施しています。 さらなる県有施設の省エネ化や再エネ導入を図るため、次期まほろばゼロカーボン推進事業（2029-）について、断熱改修等外皮性能の向上を特に重視して検討しています。 具体的には、県内で発電した電力の活用を含む県有施設の電力調達、稼働中の県庁本庁舎の高度断熱化・ZEB化改修、その他県有施設での省エネ・再エネ設備の導入、次世代技術の活用（ペロブスカイト太陽電池、リユースパネル等）を検討しています。
脱炭素施策の実施によって地域にもたらしたい脱炭素以外のメリット・地域裨益・ありたい未来（ビジョン）	● コスト削減、エネルギー代金削減 ○ 健康・福祉等への貢献 ○ 地域経済の活性化・循環型共生圏づくり ○ 地域の魅力の向上・地域課題解決 ● 防災・レジリエンス向上 ○ その他
上記内容の概要	・断熱改修等により、快適に働ける空間づくり ・省エネ化等により、エネルギー使用量を削減し、県有施設全体のエネルギー使用の最適化 ・ZEB化改修等により健康に働ける職場づくり ・太陽光発電設備や蓄電池設備の導入によるレジリエンス向上
マッチングを望む分野	高 ← 優先度 → 低 1 ZEB・ZEH・建築物の省エネ 4 2 公共施設での太陽光発電 5 3 その他 その他 <u>建築物の断熱改修等外皮性能の向上、省エネ等に係る新技術</u>
マッチング企業と取り組みたい事業	次期まほろばゼロカーボン推進事業は、脱炭素社会の実現に向けた『行動する行政』の象徴となる全国初のプロジェクトを目指しています。以下に示す取組について、民間事業者が持つ技術の実装舞台として本事業を活用してほしいと考えています。 ○建築物の断熱改修等外皮性能の向上 ○ZEB・建築物の省エネ ○公共施設での太陽光発電導入（ペロブスカイト太陽電池やリユースパネルの活用を含む） ○省エネ等に係る新技術